

令和4年度 地域包括ケア 「見える化システム」 を活用した地域分析

八幡市健康福祉部高齡介護課

地域包括ケア「見える化」システムとは

地域包括ケア「見える化」システムは、都道府県・市町村における介護保険事業（支援）計画等の策定・実行を総合的に支援するための情報システムです。介護保険に関連する情報をはじめ、地域包括ケアシステムの構築に関する様々な情報が本システムに一元化され、かつグラフ等を用いた見やすい形で提供されます。

本システム利用の主な目的は、以下のとおりです。

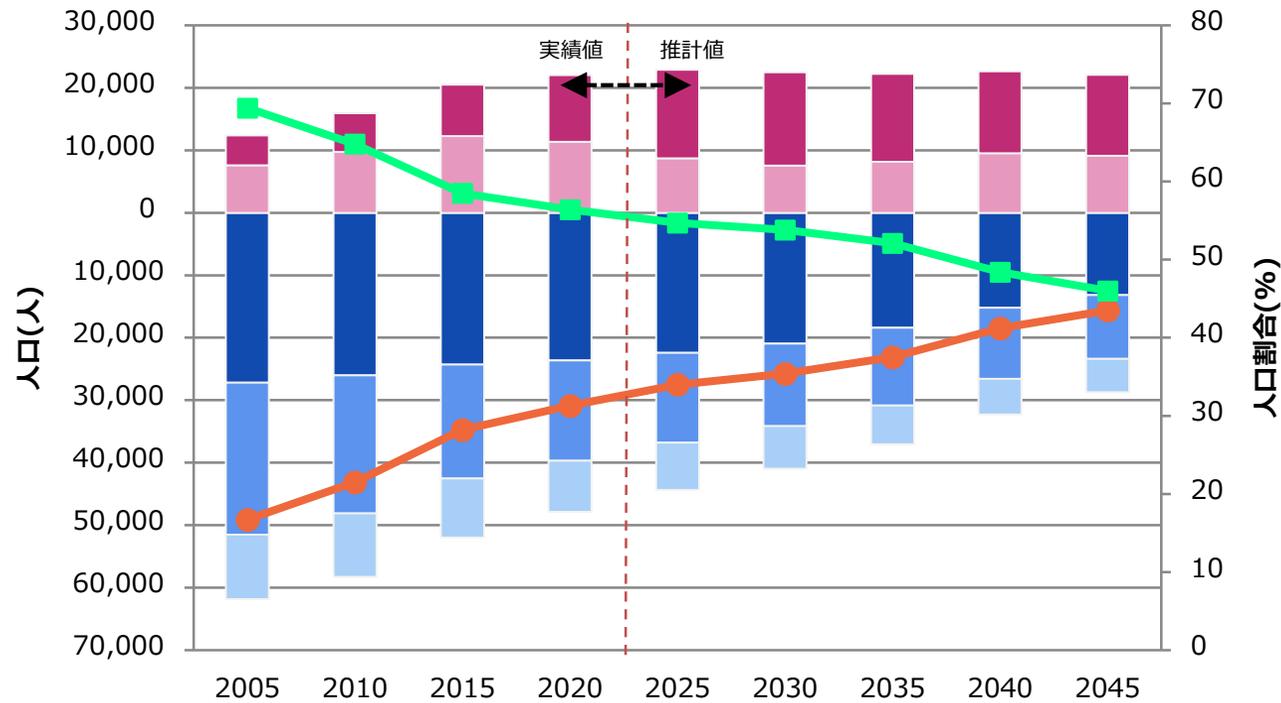
- ・地域間比較等による現状分析から、自治体の課題抽出をより容易に実施可能とする
- ・同様の課題を抱える自治体の取組事例等を参照することで、各自治体が自らに適した施策を検討しやすくする
- ・都道府県・市町村内の関係者全員が一元化された情報を閲覧可能となることで、関係者間の課題意識や互いの検討状況を共有することができ、自治体間・関係部署間の連携が容易になる

また、本システムは、平成27年7月の本格稼働以降、一部の機能を除いて誰でも利用することができるようになりました。

このことから、住民も含めた地域の関係者間で、地域の課題や解決に向けた取組を共有でき、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を推進しやすくなることが期待されます。

（以上、厚生労働省ホームページからの引用）

八幡市の人口の推移



(出典) 2000年～2020年まで：総務省「国勢調査」

2025年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

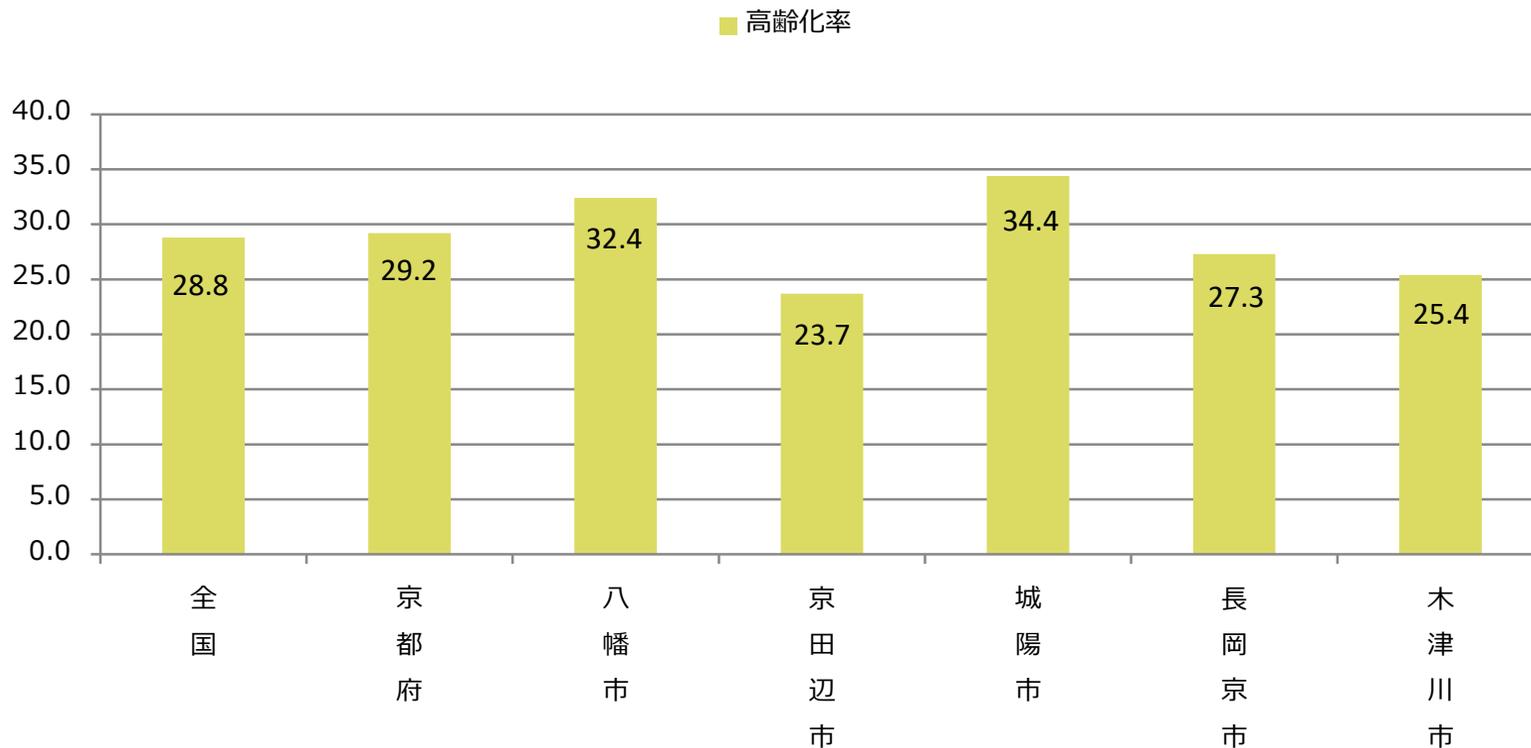
- 75歳以上
- 65歳～75歳未満
- 15歳未満
- 15歳～40歳未満
- 40歳～65歳未満
- 高齢化率
- 生産年齢人口割合

八幡市の高齢化率の降順		
(2020年10月時点)		
京都府内	15番目	26保険者
全国	1,016番目	1,570保険者
(2025年の推計値)		
京都府内	13番目	26保険者
全国	940番目	1,512保険者
(2040年の推計値)		
京都府内	14番目	26保険者
全国	830番目	1,512保険者

💡 八幡市の人口は、2025年67,239人、2040年54,923人と推計されています。

💡 八幡市の高齢化率は2025年34%（全国30%）、2040年41.2%（全国35.3%）と推計されています。

高齢化率（令和4年(2022年)）



(時点) 令和4年(2022年)

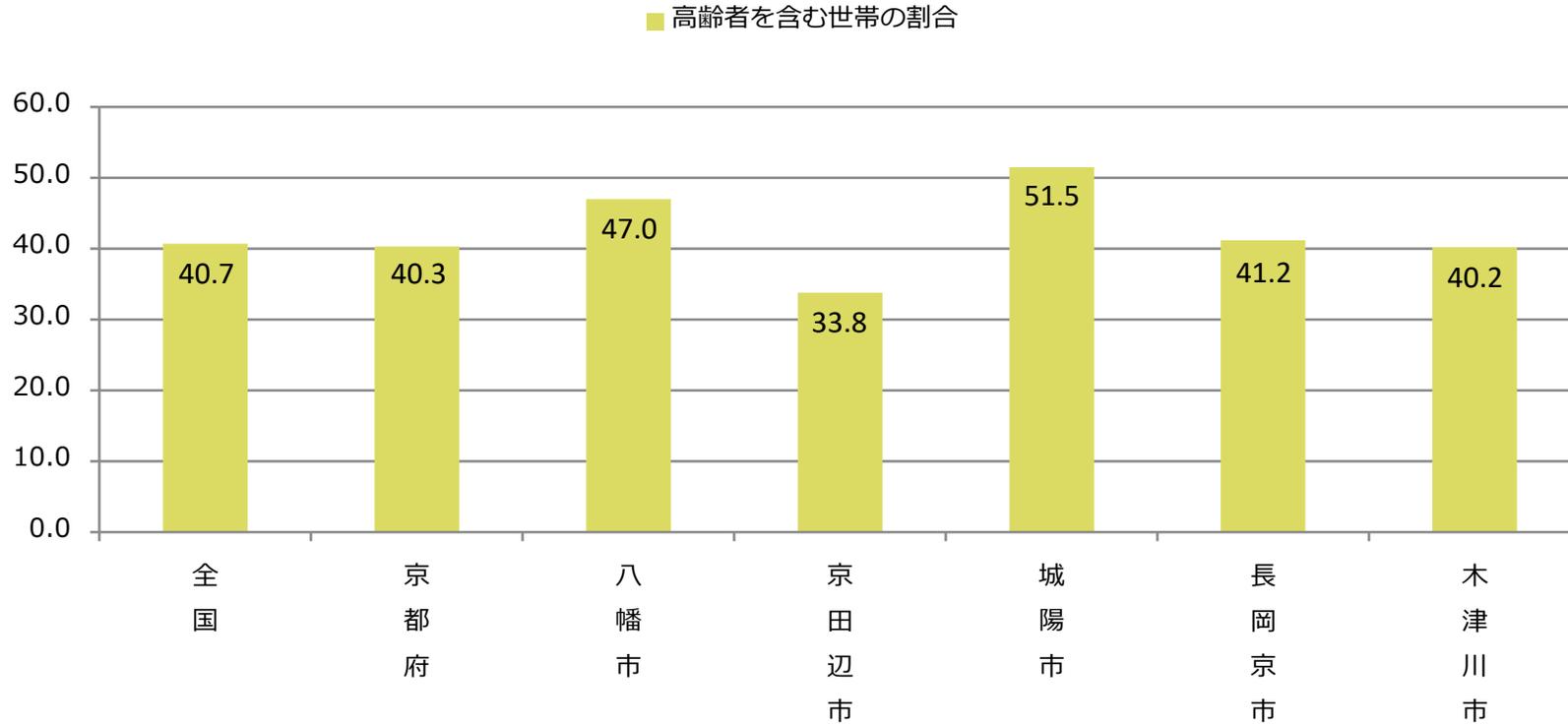
(出典) 総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

💡 京都府南部の人口規模が近い地域と比較

💡 令和4年 八幡市の高齢化率は、全国平均・京都府平均より上回っています。

💡 近隣市と比較すると2番目に高い割合となっています。

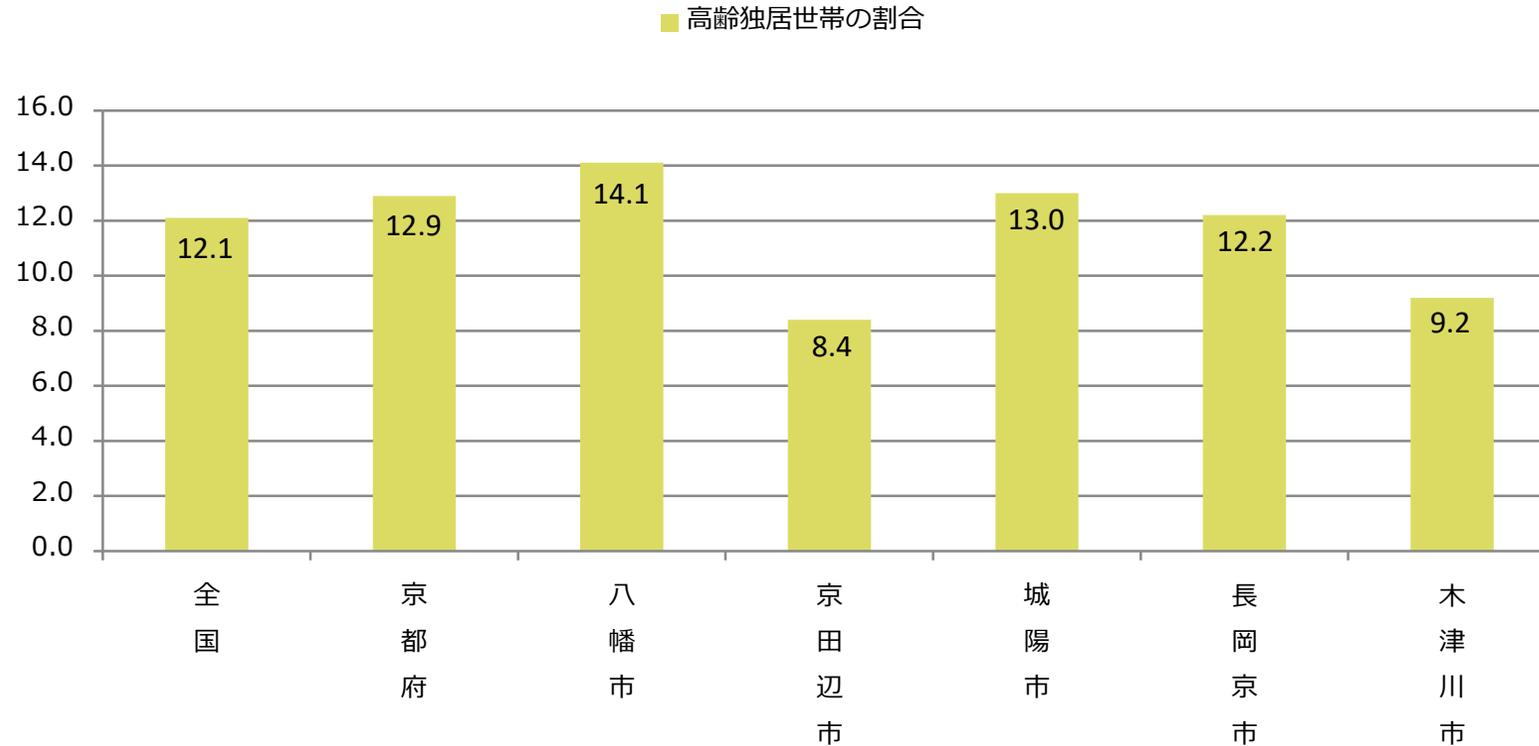
高齢者を含む世帯の割合（令和2年(2020年)）



(時点) 令和2年(2020年)
(出典) 総務省「国勢調査」

💡令和2年（集計5年毎）八幡市の高齢者を含む世帯の割合は、全国平均・京都府平均より上回っています。
💡近隣市と比較すると2番目に高い割合となっています。

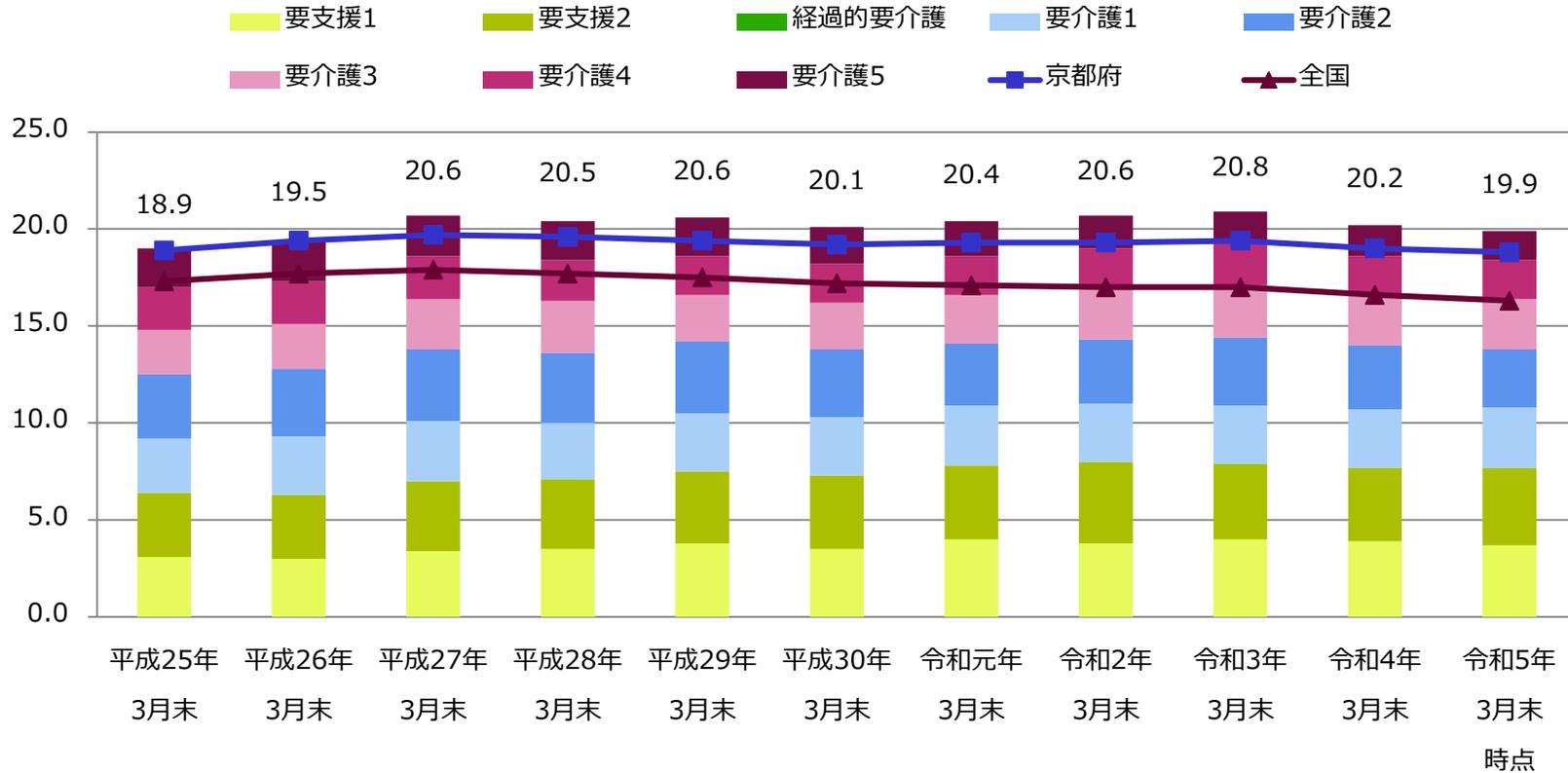
高齢独居世帯の割合（令和2年(2020年)）



(時点) 令和2年(2020年)
(出典) 総務省「国勢調査」

💡 令和2年（集計5年毎）八幡市の高齢独居世帯の割合は、全国平均・京都府平均より上回っています。
💡 近隣市と比較すると1番高い割合となっています。

調整済み認定率（要介護度別）（八幡市）



（注目する地域） 八幡市

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

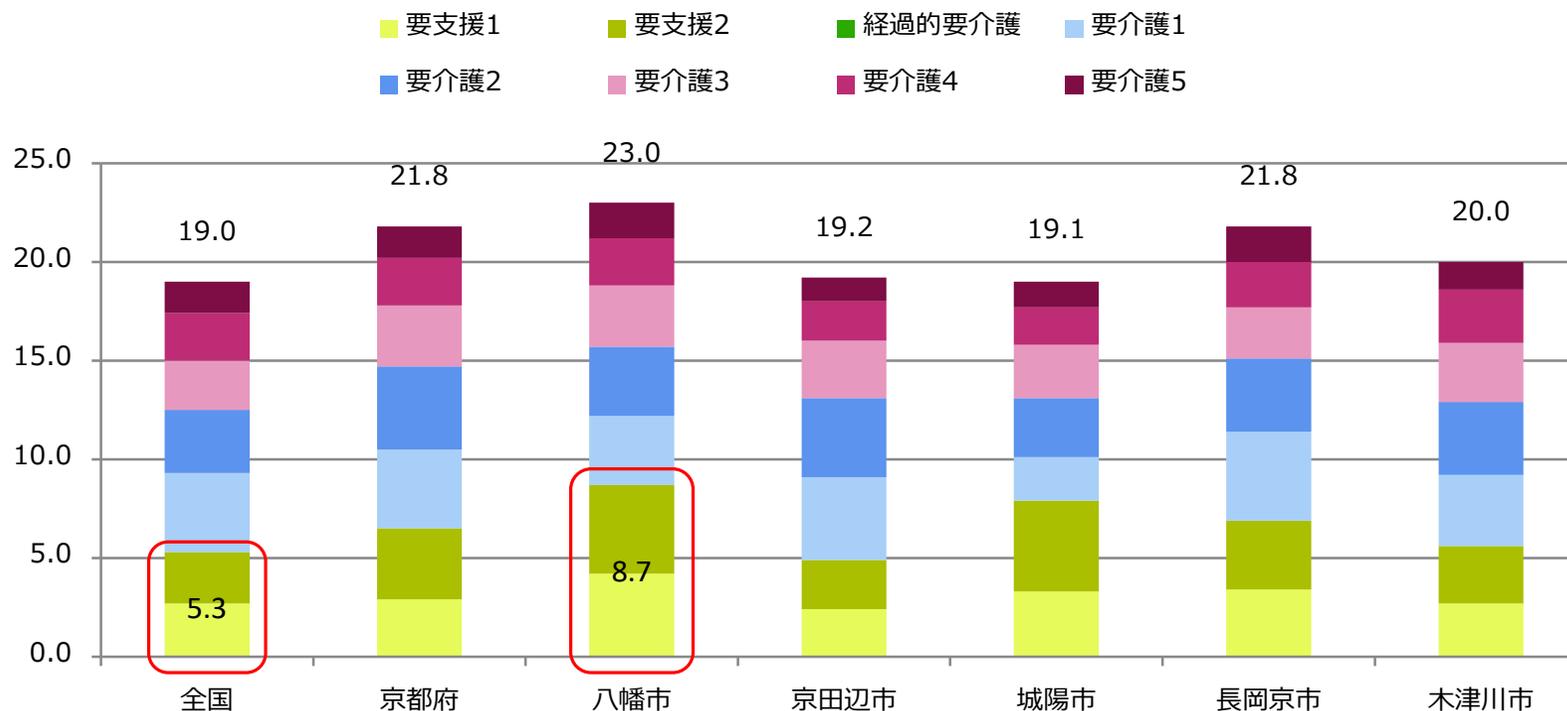
調整済み認定率とは、認定率の大小に大きな影響を及ぼす、「第1号被保険者の性・年齢別人口構成」の影響を除外した認定率を意味します。

一般的に、後期高齢者の認定率は前期高齢者のそれよりも高くなることわかっています。第1号被保険者の性・年齢別人口構成が、どの地域も、ある地域または全国平均の1時点と同じになるよう調整することで、それ以外の要素の認定率への影響について、地域間・時系列で比較がしやすくなります。

第1号被保険者の性・年齢構成は、平成27年1月1日時点の全国平均を利用

💡調整済み認定率は、平成27年3月末からほぼ横ばい。八幡市は、全国平均17.0%、京都府平均19.4%より高くなっています。

調整済み認定率（要介護度別）（令和4年(2022年)）



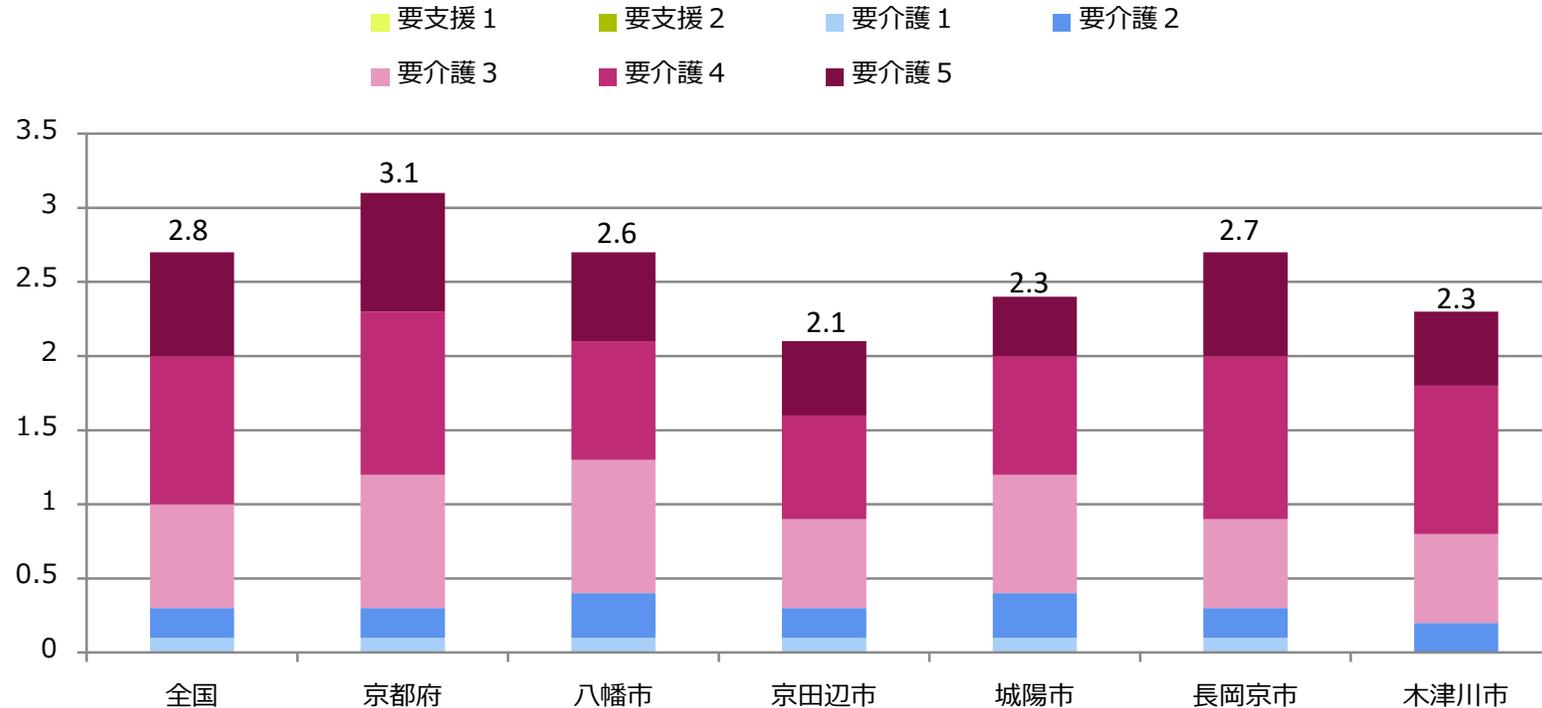
（時点）令和4年(2022年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

第1号被保険者の性・年齢構成は、表示年の全国平均を利用

💡令和4年調整済み認定率は、全国平均・京都府平均・他市より割合が高くなっています。
 💡特に調整済み軽度認定率（要支援1、2）については全国平均5.3%に比べ八幡市は8.7%と割合が高くなっています。

受給率（施設サービス）（要介護度別）（令和4年(2022年)）



施設サービスとは介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院となっています。

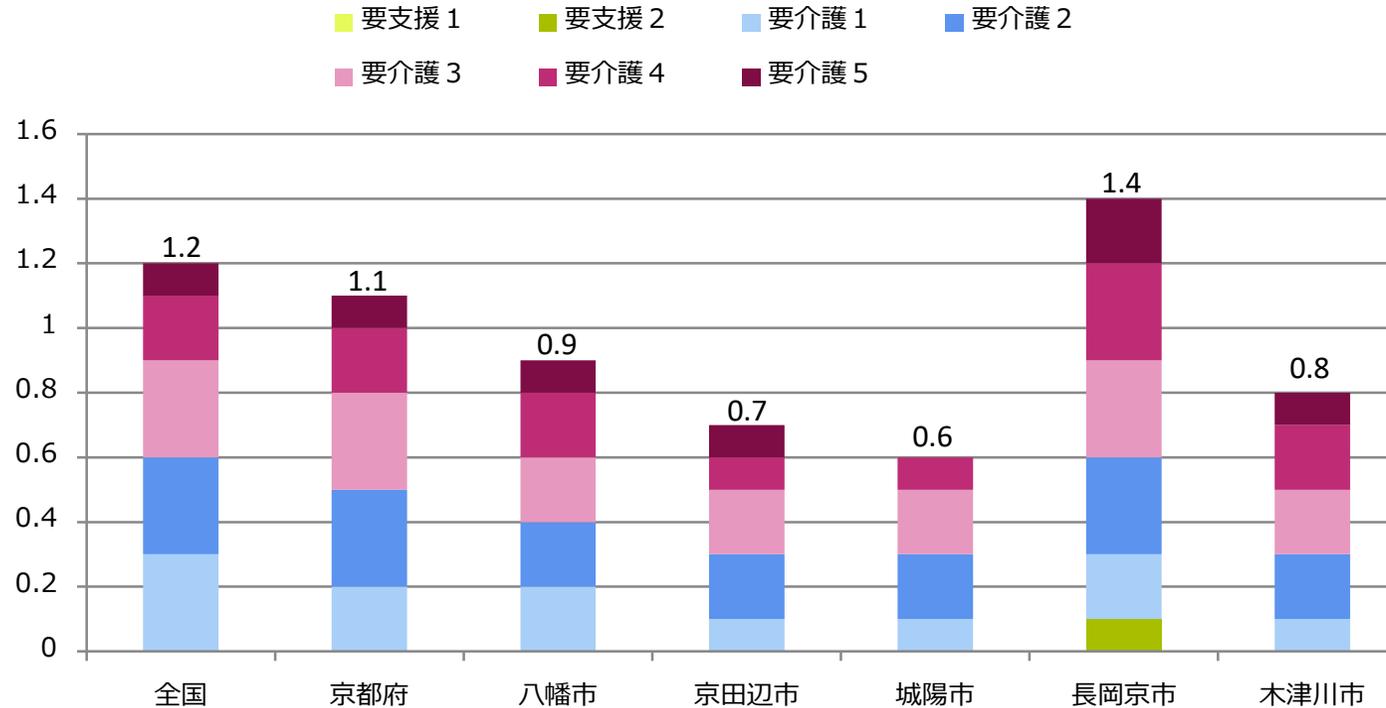
「受給率（施設サービス）」は、施設サービスの受給者数の最新月までの総和を、第1号被保険者数で除した後、当該年度の月数で除した数を意味します。

（時点）令和4年(2022年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

💡令和4年 受給率（施設サービス）の割合は、京都府平均より下回っています。
 💡近隣市と比較すると2番目に高い割合となっています。

受給率（居住系サービス）（要介護度別）（令和4年(2022年)）



居住系サービスとは特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護となっています。

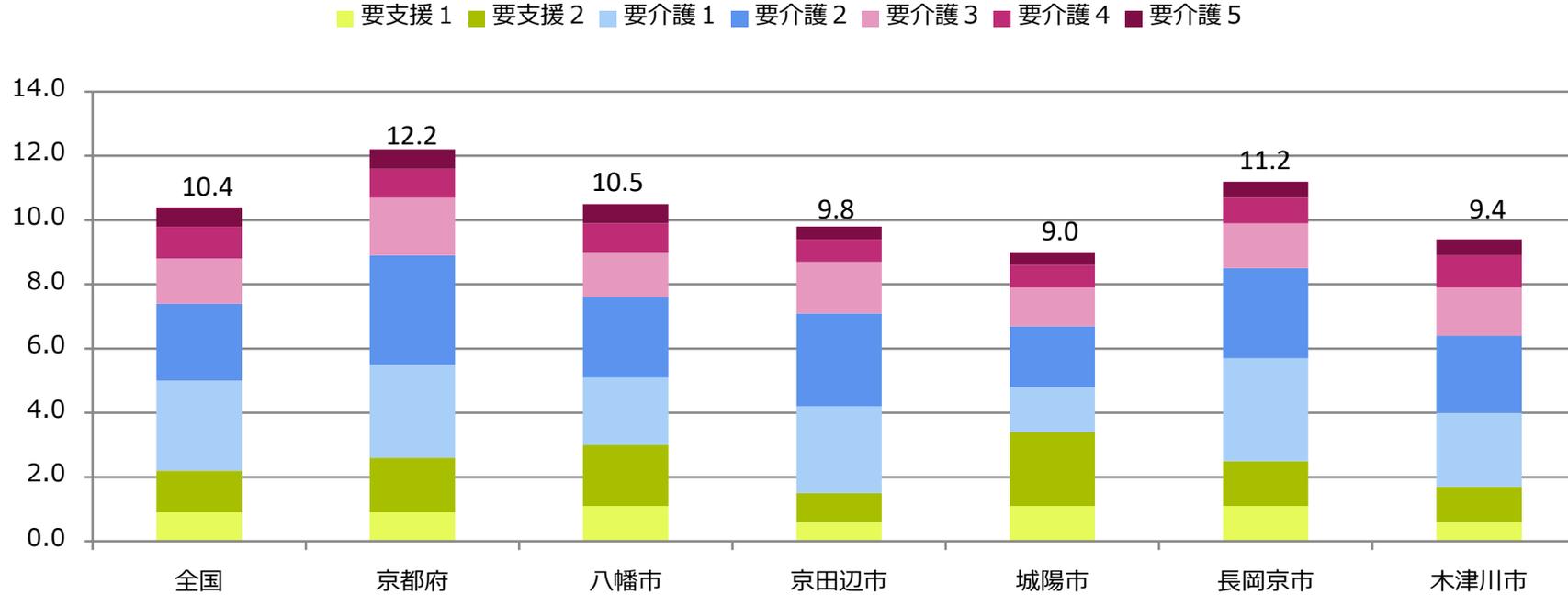
「受給率（居住系サービス）」は、施設サービスの受給者数の最新月までの総和を、第1号被保険者数で除した後、当該年度の月数で除した数を意味します。

（時点）令和4年(2022年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

- 💡 令和4年、受給率（居住系サービス）の割合は全国平均、京都府平均より下回っています。
- 💡 近隣市と比較すると2番目に高い割合となっています。

受給率（在宅サービス）（要介護度別）（令和4年(2022年)）



「受給率（在宅サービス）」は、施設サービスの受給者数の最新月までの総和を、第1号被保険者数で除した後、当該年度の月数で除した数を意味します。

（時点）令和4年(2022年)

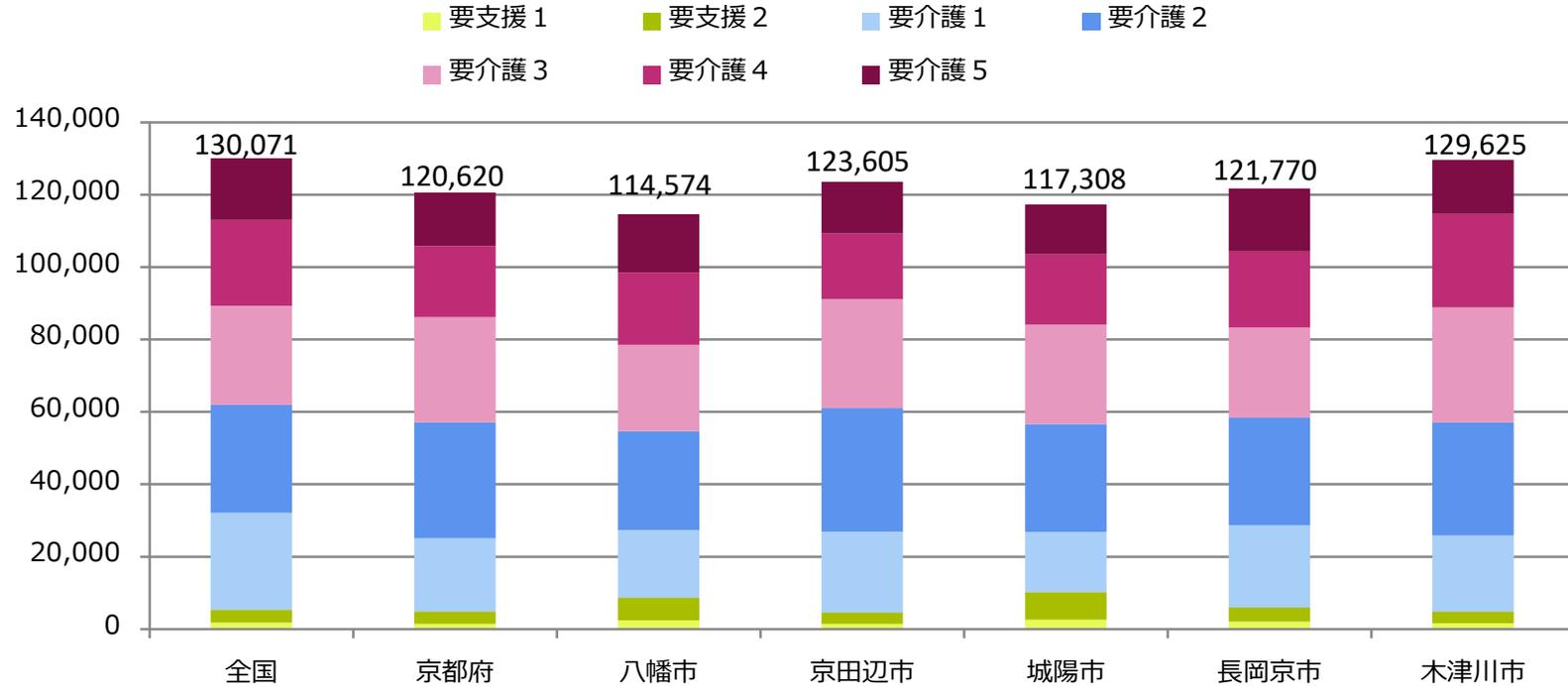
（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

在宅サービスとは訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護（介護老人保健施設）、短期入所療養介護（介護療養型医療施設等）、福祉用具貸与、介護予防支援・居宅介護支援、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、地域密着型通所介護となっています。

- 💡 令和4年 受給率（在宅サービス）の割合は、京都府平均より下回っています。
- 💡 近隣市と比較すると2番目に高い割合となっています。

受給者1人あたり給付月額（要介護度別）（在宅および居住系サービス）

（令和4年(2022年)）



（時点）令和4年(2022年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

💡令和4年 受給者1人あたり給付月額（在宅および居住系サービス）の割合は、全国平均・京都府平均より下回っています。

💡近隣市と比較すると1番低い割合となっています。

八幡市の現状分析と要因について

- ① 現在の高齢化率は全国・京都府平均より高い割合になっており、八幡市の高齢化率は年々上昇し、2040年には全国平均より約6%上回ると推計されています
- ② 高齢者の含む世帯の割合や高齢独居世帯の割合が高くなっているため、高齢者世帯の孤立化や老々介護に置かれやすい状況が推測されます
 - ➡ 地域包括支援センターの役割について周知を行うとともに、自治体組織や民生児童委員との連携強化等が必要であると考えます
- ③ 調整済み認定率が高い割合になっており、特に調整済み軽度認定率(要支援1、2)の割合が高くなっています
 - ➡ 介護保険制度への理解が高く、早めに認定申請を受けることにより安心感を持つ傾向があります
 - ➡ 健康寿命を延ばし、長期間自立した生活ができる総合事業の「一般介護予防事業」や「介護予防・生活支援サービス事業」の周知・利用が必要であると考えます
- ④ 施設サービス・居宅系サービス・在宅サービスの受給率の割合が京都府平均より低くなっています
 - ➡ 第1号被保険者数(65歳以上の方)に対してサービス利用の受給率が低いため、一月当たりの給付額も低い割合となっています